

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

重点事業の概要〔事業名：小中一貫教育及び教科「日本語」の推進事業〕
 〔目標値：教科「日本語」を核とした小中一貫教育を推進している学校数 12/12校 100%〕
 ○この事業は、リープロ〔未来を創る人を育てるプロジェクト〕に位置付けられた小中一貫教育を推進するために実施する事業です。特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりを進めるため、平成23年3月策定した「鳥栖市小中一貫教育基本計画」に基づき、小中学校が目標を共有し、小中の教職員が一体となって学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組み、各中学校区の取組に加えて、今年度から教科「日本語」を鳥栖市立の全小中学校で実施するものです。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	1 鳥栖中学校区3校への指導・助言及び支援を行った。 2 夏季休業中に小中一貫教育コーディネーター研修会及び全職員を対象にした教科「日本語」講演会の実施を行った。 3 鳥栖市立全小中学校の小中学生に教科「日本語」の教科書を配布し、全12小中学校で授業を始めた。
	自己評価	1 教科日本語担当の指導主事を中心に各学校に指導・助言を的確に行うことができた。 2 予定どおりに市内の全小中学校で教科「日本語」の授業を開始することができた。 3 夏季休業中に市内全教職員を対象とした教科「日本語」に関する研修会を実施し、教職員の理解を深めることができた。
	下半期への対応	1 11月20日の鳥栖中学校区研究発表会へ向けて、指導・助言を継続して行う。 2 各学校の教科「日本語」の授業を指導主事が参観し、指導助言を行う。 3 教科「日本語」の意識調査を実施し、実施1年目の状況等について分析を行う。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

教育長の指示

上半期

- ・今年度から研究委嘱を行った基里中校区を始め今年度スタートの教科日本語の取り組みがスムーズに小中一貫教育の取り組みの中で実践できるように指導助言を行うこと。
- ・鳥栖中校区で実施される教科日本語の研究発表会が、他の学校への支援や参考になるように、内容の充実を図ること。

下半期

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

<p>重点事業の概要 [事業名：ICT利活用教育推進事業]</p> <p>[目標値：テレビ一体型電子黒板を授業中に活用できる教師の割合 100%]</p> <p>○この事業は、リープロ[未来を創る人を育てるプロジェクト]に位置付けられた特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりを進めるために、小中学校へのICT機器(テレビ一体型電子黒板)を導入し、デジタル教科書やインターネットを利用した授業を可能とすることで、より分かりやすい授業を行い、学力向上に努めるものです。</p>

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	1 情報推進リーダー研修会の実施及び小学校電子黒板の機種選定を行った。 2 テレビ一体型電子黒板を小学校の全普通教室へ整備した。
	自己評価	1 小学校の全普通教室に電子黒板を配備するため、管理職及び情報教育担当者を対象にした導入検討会を実施した。 2 2学期からの授業で使用できるよう夏季休業中に小学校全普通教室への電子黒板整備を予定どおりに終え、夏季休業中に電子黒板の活用に関する研修を各学校で実施した。
	下半期への対応	1 各小中学校に整備した電子黒板の活用状況について調査を行い、積極的な活用を促す。 2 各小中学校に整備したデジタル教科書の活用状況について調査を行い、積極的な活用を促す。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

教育長の指示

上半期

- ・昨年度全中学校に整備した電子黒板の活用状況等を調査し、学力向上や分かる授業を構築する上での大きな手立てとなるように指導助言を行うこと。
- ・今年度整備した全小学校の電子黒板について、積極的な活用がなされるように、さまざまな研修会等を通して啓発を図ること。

下半期

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

重点事業の概要 [事業名：中学校給食の検討事業]

[目標値：選択制弁当給食を継続した場合の注文率 60%以上 (H26 年度の平均注文率約 42%)]

○この事業は、リープロ [未来を創る人を育てるプロジェクト] に位置付けられた取組み「安全・安心な教育環境づくり」を達成するために食育を推進する事業です。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	1 今年2月に実施した中学校給食に関するアンケートについて、集計を行い、結果を概要としてまとめた。 2 校長会で意見聴取をしたり、全中学校区でPTAとの協議を行ったり、定例教育委員会で協議を行ったりした。
	自己評価	1 予定どおり中学校給食に関するアンケート結果をまとめ、児童生徒や保護者の中学校給食に対する思いを知ることができた。 2 校長会で意見聴取を行ったり、中学校区ごとにPTAとの教育懇談会でアンケート結果をもとに、意見聴取を行ったりしたことで、現状と今後の課題等を把握することができた。
	下半期への対応	1 定例教育委員会で今後の中学校給食の在り方についての協議を継続して行う。 2 鳥栖市として中学校給食の今後の在り方をどうするか、校長会やPTA連合会等との協議を参考に定例教育委員会で協議して、中長期的な計画を立てる。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

教育長の指示

上半期

- ・アンケート調査から出てきた捕食の問題など選択制弁当給食の課題について、解決できることは、早急に対処し、注文率を上げること。
- ・中学校給食のあり方について、定例教育委員会等のいろいろな場で協議を行い、完全給食の意義や課題等についてまとめること。

下半期

教育総務課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

重点事業の概要 [事業名：学校評議員配置事業]

[目標値：学校評議員会を5回以上開催した学校 (現状値9校) 12校]

○ (事業の概要) この事業は、リープロ [未来を創る人を育てるプロジェクト] に位置付けられた特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりを進めるため各小中学校に学校評議員会を設置し、評議員の方々の意見や要望等を生かして、学校運営の改善を行うものです。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	1 各学校で1学期の早い段階で学校評議員会を実施し、学校教育目標の説明や委嘱状の交付等を行った。 2 定例教育委員会で昨年度の各学校から出された報告書をもとに実績報告を行った。
	自己評価	1 各学校で年間計画を立て、予定どおりに学校評議員会を実施した。 2 入学式や体育大会の学校行事についても各学校から学校評議員に対し、積極的に参加を促すことができた。
	下半期への対応	1 計画的に学校評議員会を実施する。 2 学校評価に学校評議員を活用し、結果を次年度以降の学校運営に役立てる。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

教育長の指示

上半期

・昨年度の学校評議員の取り組み状況・成果等について調査を行い、開かれた学校づくりの推進や、地域と連携した特色ある教育活動を展開することを目的に運用できるように指導助言を行うこと。

下半期